

2022年 7月 1号



給食費無償化実現を要求！

無所属クラブ 補正予算に反対

6月議会 松原のりかず 本会議討論

時、正に、国政は参議院選挙に入りました。重要な争点は物価高騰問題、次々に上がる各種物価、への対策が、選挙の争点になろうとしています。3年目に入るコロナ禍での岐阜市民生活救済が重要な争点です。岐阜市議会6月議会の第62号議案。

この予算には、キャッシュレス決済にかかわる多額予算が含まれており、反対です。今日まで、何回も指摘申し上げてきましたが、「もう止めると言われた事業が、まとも出された」との市民の声があります。

目的と手段が逆転した 岐阜市キャッシュレス事業

岐阜市におけるキャッシュレス決済事業予算の問題点は、目的と手段の逆転現象です。コロナ禍の緊急予算の目的は岐阜市民生活の救済です。その救済方法の一手段として、キャッシュレス決済事業があり、デジタル化があります。どちらも手段であり、予算の目的は、市民生活の救済です。目的を置き去りにしています。

スマホ決済の現状ひとつをとっても、普及率、使いかた、不便さも指摘されます。プレミアム商品券方式を併用する自治体は、市民生活の救済を重視し、見失っていません。実行されるべき予算目的は、岐阜市民生活の救済であり、デジタル事業者の救済ではありません。ましてや、岐阜市民以外への予算流失の恐れもある事業は予算の無駄遣いの指摘を受けます。

給食無償化 置きざり、補正予算の80%以上が、キャッシュレス事業に！？

岐阜市民、中小事業者に公平に利益を生まないキャッシュレス決済です。予算約10億円の内、80%以上の8億円以上を、キャッシュレス事業に配分し、残額から、給食費の補助等が予算とされています。学校給食費1食25円の補助金だけでなく、次代を担う未来への投資として、子ども達への手厚い支援を拡充すべきです。

岐阜市近郊で、岐南町から学校給食無償化の流れは、山口市、本巣市へ広がり、瑞穂市の水道基本料金免除など多彩な支援対策が決定されています。「こどもファースト」の掛け声ほど、子育て支援策が、半歩も感じられません。反対です。

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

「都合の悪い資料」は遅くなる？

討論の最後

最後に、冒頭、討論申し上げました、第62号議案に関連して、もう1点、指摘申し上げます。

第62号議案の、学校給食の1食への補助金25円に関連して、学校給食費無償化について本会議質問を、私が質問をしています。その際、市教育委員会事務局から岐阜県内と全国の無償化に関する現状資料を、提供いただいています。提供を受けた日付は6月10日です。

第62号議案の教育委員会予算にかかる議案が、審査される常任委員会文教委員会に、同一資料が提出されたのは6月21日です。21日は、議案説明と質疑がすでに終了した日です。委員会討論採決の日です。

同資料は6月10日にすでに、教育委員会事務局に存在していましたが、文教委員会に提出されるまでに11日間遅れました。

遅くとも、議案質疑の20日には、文教委員会に提出できた資料です。議案質疑に必要な関連資料の提出は、迅速に、既に存在する資料は言うまでも無く、適時、適切な提出を求めます。

「都合の悪い資料は、遅くなるのか」と指摘をされるのは不名誉な事です。

議会対応について、理事者は「適時、適切」な審議資料の提供を行なうべきです。

以上、御指摘申し上げ、討論を終わります。

コロナ特別委員会 市民外の%増大・キャッシュレス事業

6月23日（本会議終了後）、岐阜市議会コロナ対策特別委員会が開会されました。健康部、経済部から対策現状が報告されました。

経済部から「キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業」の「第2弾、第3弾」の報告では、「・・・市民等に対して利用額の最大20%のポイント還元」と報告されました。が、「市民等の等とは何か?」「何が該当するのか?」（松原のりかず）と質問しましたら、「岐阜市民以外」（経済部）であるとの回答。



市民以外が拡大 第1弾 35.98% → 第3弾 46.92%

第1弾 岐阜市民64.02% 岐阜市民以外35.98% 第2弾 岐阜市民59.66% 外40.34% 第3弾 岐阜市民53.71% 外46.92%

これでは、第4弾 は、岐阜市民は事業利用者の半数切るかも!? 税金流失?